

武蔵野市第四期長期計画調整計画策定委員会（第1回）会議要録

- 日 時 平成19年4月10日（火曜日） 午後7時から午後9時25分まで
- 場 所 武蔵野総合体育館 大会議室
- 出席者 加瀬委員、栗田委員、栗原委員、小原委員、酒井委員、田村委員、前川委員、向井委員、村井委員、山本委員、会田委員
市長、企画政策室長、企画調整課長、企画調整課副参事（行政経営・評価担当）、企画調整課副参事（新公共施設開設準備担当）ほか

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長挨拶

【市長】市長就任以来、市民が主役の市政を目指し、様々な場面で市民参加の機会を設けてきた。市民の皆さんには積極的に参加をしていただいている。計画の検討段階だけでなく、計画を実行していく段階でも、皆さんと協働し、進めていきたいと思っている。長期計画の見直しについては、議会にも理解を得られた事項である。今回は基本構想の枠組みは維持し、長期計画で見直すべき事項を見直していくという趣旨のもと、この委員会を設置した。次回の会議には、各市民会議の提言書が提出されるので、市民の皆さんの成果について大いに議論してほしい。策定委員会において策定委員同士の議論はもちろん必要だが、様々な市民、市民団体の声等多くの声を聴きながら、検討をお願いしたい。きついスケジュールが予想されるが、よろしくをお願いしたい。武蔵野市の今後を示す調整計画の策定にお力をいただきたい。

- 4 委員自己紹介
- 5 事務局紹介
- 6 議 事

（1）委員長・副委員長選出

【事務局】武蔵野市第四期長期計画調整計画策定委員会設置要綱の第4条で、「委員会に委員長1人及び副委員長2人以内を置き、委員の互選によりこれを定める。」と規定されている。この規定に従って、初めに委員長の互選をお願いしたい。委員の皆様の中から、どなたかを委員長に推挙いただけないか。

【委員】第二期基本構想・長期計画の策定に携わった経験、見識という点から考え、田村委員が最適ではないか。

〔異議なし〕の声

【事務局】では、田村委員よろしくをお願いしたい。

（田村委員長挨拶）

【事務局】これからの進行は、田村委員長をお願いしたい。

(市長公務のため退室)

【委員長】早速、副委員長の選出を行いたい。策定委員会設置要綱によると、副委員長を2名、互選する規定となっている。どなたか推挙願いたい。

【委員】第二期、第三期の調整計画の策定委員を務められた、山本委員が副委員長として最適ではないか。

【委員長】もう一方、どなたか推挙願いたい。

【委員】各市民会議から推薦された委員の中から推薦させていただく。酒井委員を推薦する。行・財政という分野から推薦された委員のため、各分野の財政面を把握している。適任ではないか。

【委員長】山本委員及び酒井委員が推挙された。皆さん、いかがか。

〔異議なし〕の声

【委員長】では、山本委員、酒井委員、よろしく願いたい。

(山本副委員長、酒井副委員長挨拶)

(2) 策定委員会の運営について

【事務局】お諮りしたいのは、策定委員会の公開についてである。委員会そのものを公開するかしないか、議事録を公開するかしないか等について協議いただき、決定をお願いしたい。

(策定委員会の公開について)

【事務局】(本委員会の特徴及びこれまでの経緯について説明)

【委員長】公開が原則で、策定委員内でとどめておくべき内容については、非公開とすることが必要であると考えるが、事務局の方で何か考えがあるか。

【事務局】そのような方向ならば、策定委員どうしの会議は公開とし、庁内へのヒアリング等については、非公開としたらいかがか。

【委員長】公開、非公開の線引きは簡単ではない。しかし、非公開とするものは、傍聴を拒否するというのではなく、公開にそぐわないものとして、個別にわれわれが常識でもって判断していく必要がある。この委員会は原則傍聴可ということで良いか。

〔異議なし〕の声

【委員】ヒアリング等については非公開としてはどうか、との事務局からの提案がなされたが、ヒアリングされる側の了解がとれれば、公開としても良いのではないか。

【委員】市長を相手にした場合、フランクな議論ができなくなるおそれがあるのではないか。

【委員】庁内へのヒアリングにしても、政策形成過程のため、策定委員の中だけの話にした方が、フランクで、生な話ができるのではないか。こういったことを併

せて、総合的に判断していくべきだ。

【委員長】最大限公開していくべきだが、われわれのインカムになるような内側の会議は、内輪の話として蓄積する場であり、公開・非公開について議論するようなものではない。策定委員会の会議そのものは17回予定されているが、これは原則公開。内輪の会議でも、公開が必要な場合は、都度議論していけば良いと考えるが、いかがか。

【委員】市内部の決定過程が見えないと思っている市民が多いことを踏まえておく必要がある。

【委員】現場の職員が意見を調整しないで策定委員に述べてもらうためには、委員長の意見同様、インナーの意見のやりとりについては非公開にしておくべきだと考える。

【委員長】17回開催される策定委員会については、原則公開。内側の話については、公開が必要と考えられる場合は、都度公開するか否か議論していきたい。

【委員】策定スケジュールにヒアリングとなっているものは、全て内側の話ということで、非公開と考えて良いのか。

【委員長】公開・非公開を問うようなものではない。われわれの学習過程、蓄積する場である。公開の必要がある場合等は、適宜判断をしていくこととしたい。

（議事録の公開について）

【委員長】続いて、議事録の公開についてどうするか決定したい。

【委員】迅速性を考え、議事要録を作成し、公開することを提案したい。最終的には全文録も作成する必要があるが、リアルタイムで議事録を公開し、市民参加を促すには、議事要録を迅速に作成し、公開する方が良い。

【委員長】まず、無記名の議事要録を的確かつ迅速に作成し、ホームページ等で公開する。記名された全文録についても作成し、閲覧に供することとしたいが、どうか。

〔異議なし〕の声

（傍聴要領について）

【事務局】事務局で傍聴要領（案）を作成したので配布する。

（傍聴要領案を説明）

【委員長】傍聴要領（案）について、何か意見はあるか。

【委員】各市民会議から推薦された策定委員が欠席の場合、会議に支障をきたすことがあるのではないか。そういった場合、委員長の判断で傍聴人がその策定委員の代理として発言ができる等、弾力性をもったものにできないか。

【委員】気持ちはわかるが、反対である。今の発言には、市民会議の代表ということが感じられるが、各市民会議から推薦された委員も、個人の資格、見識でもっ

て議論をしていく必要がある。各市民会議の代表という位置付けは、策定委員会の趣旨とは合わない。

【委員長】市民会議から推薦された委員は、市民会議から独立した立場であるべきだ。傍聴者の発言については、傍聴要領（案）にどのように規定されているか。

【事務局】規定はされておらず、通常、運用で、例えば会議終了後、紙に意見等を記載、提出してもらおう場合がある。運用で行っている部分であり、規定する必要はなく、委員の中で合意ができれば良いのではないかと考えている。

【委員】傍聴者の発言について、委員長の裁量に任せるのはいかがなものか。会議の最後の5分間から10分間程度、傍聴者に意見があれば述べてもらい、また、紙に書いて提出したい人にはそれも認める、という方法もある。そのようなルールを定めれば、良いのではないか。

【委員】傍聴者の発言により、われわれの議論ができなくなると困る。会議中に議論とは関係ないことを延々と述べる傍聴者がいる場合もある。最後の5分間ぐらいで発言を認めるのであれば、進行の妨げにはならない。

【委員】事務局で先ほど説明したような、傍聴者に意見を紙に記載し、提出してもらおうといった機会を必ず設けていくようにしたい。

【委員】傍聴者の発言は、議事録に反映させていくのか。

【委員】傍聴者が意見を出しても、大方の会議では反映されない。議事録に反映させる、させないという議論より、意見を生かすようにしていくことが大切だ。

【委員長】では、必要に応じて最後の5分間程度、傍聴者の発言を認める。その意見は会議に反映させていき、議事録に反映させていくことはしないこととする。その他何かあるか。

【委員】聴覚障害者の方が傍聴を希望された場合、対応をお願いしたい。

【事務局】手話通訳派遣等市としてできる範囲のことをできる限り行っていく。

（その他）

【委員】市に寄せられる議事録を読んだ意見等は、各委員にメール・FAXで送付願いたい。次回会議に反映させていきたい。

【委員】策定委員会開催日前日に、意見等を要約等はせず、メール・FAXで送付していただければ良い。

【事務局】前向きに考えていきたい。

（3）庁内体制及び策定スケジュールについて

【事務局】（庁内体制及び策定スケジュールについて説明）

【委員】資料は配布しなくても良いので、OHPを使用し、前回調整計画策定時の討議要綱、計画案の内容、討議要綱完成時の市報記事等をお見せいただきたい。そうすれば討議要綱等について各委員イメージがつかめる。

【委員長】この提案については、第2回策定委員会の冒頭でお願いしたい。

(4) 策定作業の進め方について

【事務局】討議要綱に向けてどのようなかたちで議論していくか、市民会議からの提言書についてどのようなかたちで議論するか、膨大な量の各個別計画について行政側からどのように情報提供していくべきかなど、多々策定作業について議論していただきたい事項はある。しかし、今回は時間の関係もあり、次回策定委員会の冒頭から始めさせていただきたい。

【委員長】前回までの策定作業内容を変更しても構わない。何か問題点等あれば、意見をお願いしたい。

【委員】過去の策定委員会は情報過多であった。もう少しじっくりした議論をした方が良いのではないか。事務局で咀嚼（そしゃく）したうえで、議論を策定委員会にあげてほしい。また、情報も簡素化して提供してほしい。

【事務局】工夫していく。

【委員】各分野別部会に対する市長講話の内容について、情報提供してほしい。何を議論すべきかが見えてくる。

【委員長】各個別計画等の内容については、要領良く伝えてほしい。

(5) その他

【事務局】次回は、4月26日（木曜日）19時から、スイングホール10階スカイルームで開催する。